

Next One!

となみ 市議会 だより

～ 令和7年8月定例会 ～

Contents

- P2 特集
- P4 代表・一般質問
- P9 委員会報告
- P11 賛否公開

2025
10.24
No. 42

特集

決算からみるとなみ

～ 決算特別委員会を振りかえる ～



どなたでも
利用OK /
多世代交流施設
北部苑にて



決算からみる となみ

～決算特別委員会を振りかえる～

令和7年8月定例会中に、決算特別委員会が開かれました。この特別委員会は令和6年度予算に基づいて執行された事業を評価し、適切に予算の使用が行われたかどうかをチェックするものです。今回の特集では、本市の予算の執行状況やどのように市民生活に反映されてきたのか、主要事業や市民の皆さんの声とともに振り返ります。



令和6年度砺波市一般会計決算

歳入 252億4,679万5,226円

自主財源 40.7%			依存財源 59.3%			
市税 28.4%	繰越金 6.6%	その他 5.7%	地方交付税 26.1%	国・県支出金 19.0%	市債 5.5%	その他 8.7%

歳出 234億5,883万1,421円

民生費 29.9%	衛生費 14.9%	公債費 11.5%	総務費 10.9%	土木費 10.8%	教育費 9.6%	その他 12.4%
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------

主な審議内容

事業効果の検証について

Q 令和9年度から始まる第3次総合計画の中では、大型投資事業も予定されている。厳しい財政運営が続くことが見込まれ、事業実施においては、市民への説明責任を果たす意味でも、適切な効果測定や検証が行われてきたのか。

A 各団体からの要望や市民アンケート、また社会情勢を勘案し各種計画をもとに優先順位を決め実施することを心がけている。事業効果の検証については、総合計画では評価指標となるKPI（重要業績評価指標）を設定し、毎年度その達成状況を検証評価するだけではなく、総合計画審議会・行政改革市民会議など市民目線でのチェックを行っている。今後も必要に応じて、目標値の再設定など改善に努める。

水道管の更新について

Q 砺波市水道ビジョンにある基幹管路の耐震化等の更新計画では、管路耐震化の更新は10年で20km程度の進捗計画となる。耐用年数を超える管路延長が140km程度とすれば、今後70年を費やしないと敷設替えできない計算になるのではないかと。

A 市水道ビジョンでは、国の更新基準を参考にし、本市の水道施設の更新基準年数を定め、それに基づき更新計画をたてており、現時点では計画に基づく更新でよいと考える。ただし、社会情勢の変化など必要に応じて計画はその都度見直すことも必要だと考える。現在、耐震化を行っている基幹管路は、上流部にある口径の大きい箇所から順次進めている。今後は管路も小さくなるので、進捗度合いも上がると思われる。

Q 定住促進事業の効果は

A 県外からの移住定住者は、昨年と比べると減少したが、住宅取得・家賃支援の実績は昨年を上回る。令和7年度から循環型住宅等のオプション加算を取り入れた砺波型サステナブル住宅支援をスタートした。

Q こども家庭センターの取組は

A 令和6年4月に開設し、児童福祉と母子保健の一体的な相談支援について、各担当の強みを活かして役割分担し、部局を超えて連携を図っている。

Q プレミアム商品券の経済波及効果は

A 販売額は3億6000万円で、利用率は99.67%と非常に高い状況になった。おつりが出ない仕組みから、利用者が額面以上の支出を行う傾向があり、利用額以上の消費拡大につながった。

市民の暮らしに結びつく事業

令和6年度事業が執行されました。事業は、砺波市に住む皆さんの暮らしと密接な関係にあります。砺波市での暮らしはどのように感じているのか、市民の皆さんの声を聞きました。

＼大学生の思いとは／

◎ どんな砺波市であったらよいですか？

8月31日(日)

議員

もうすぐ決算特別委員会が開かれます。決算の審査は、次の予算につなげる大事なプロセスです。たとえば若者からみて、どんな砺波市であったら良いと思われますか？
Aさんの考えを聞いてみたいです。

Aさん

お世話になっております。富山大学生のAです。私なりの考えをいくつか列記します。

● 10代から20代前半をターゲットに市の活性化のアイデアを募集する。良いものにはいくらかの資金支援を。たとえば、高校の総合的な学習で、市内の様々な課題解決を試みる際に支援金を出すのはどうか。

● 大学生協で使うことができる電子マネーが便利である。現実には難しいかもしれないが、市内の店舗全てに対応した電子マネーはどうか。ポイントなどの形で市民へ還元するのはどうか。

● 都市部に比べ、若者向けの娯楽施設が少ない。若者とりわけ学生がいる活気溢れた町にはそうした施設にお金をまわすことも効果的ではないか。

Aさん

もう既に取り組まれていることであったり、その方面については模索済みであったりするかもしれないため、今一度ご確認の程よろしく願い申し上げます。

Aさん

9月10日(水)

議員

こんばんは。決算特別委員会が終わりました。こんな審議がありました。

議員

◀ ● 10代から20代前半をターゲットに～市担当課からの答弁で、「公共交通対策として、市営バスの乗降数を増やすべく、砺波高校の探求学習において市営バスの課題に取り組んでもらっています」というのがありました。
市はこれまでも市内中学校や高校へ行政出前講座に出かけていますが、Aさんのおっしゃる20代へのアプローチは難しいところですね。

議員

◀ ● 都市部に比べ、若者向けの～直接いただいたご意見にはそわないのですが、若者の就労先として市内の企業を知っていただくことも重要と考えています。そこで決算特別委員会でとнами産業フェアについて質問しました。市担当課からは「リクルートをテーマに開催され、市内内外の高校生に向けて企業PRの好機となった。中途採用数も増加につながった」と答弁がありました。

議員

若い世代の働く場だけでなく、生き生きと活動できる場の必要性も感じています。

議員

また、今後の常任委員会や本会議の中でも提案できればと思っています。

◎ 砺波市の暮らしはどうですか？



「多世代交流施設北部苑は、こどもたちもママ同士も楽しく過ごせる施設です。近所にあって便利です。」
砺波北部小学校区域の
みなさん



「梅檀山は高齢者の福祉に強い地域です。今、80歳代の高齢者は、人生を楽しんでいます♪」
梅檀山地区 島さん 80代



「砺波市の観光は【観る】観光が多いですね。【体験型】の観光も増えれば、若者がより訪れてくれるのではないのでしょうか。」
東野尻地区
窪田さん 20代

議会選出監査委員の感想

今年も8月定例会中に決算特別委員会が開かれました。決算特別委員会では、その賛否によって執行された施策が変わるものではありません。では、何のためにこの委員会が開かれるのか？ということですが、大きくは二つあると思います。

一つ目は議会が承認した予算が適正に執行されたかどうか？つまりは行政効果がしっかりとあったのかの確認です。二つ目は、次年度の予算編成に議会としての意見を述べることです。この二つの視点が大切なのは言うまでもありません。

さて、今回は砺波市議会が改選されて初めての「決算特別委員会」でした。新人議員にとっては昨年度の予算については知り得ないことではありましたが、良い質疑だったと感じました。全体を通して「決算特別委員会」として意義ある委員会であったと考えています。これからも普段から議会としてのチェック機能を果たしていくべきと感じました。

今藤久之議員



代表質問

かわ べ かずひこ
川辺 一彦議員



ひと・しごと・くらしをつなぐ 活力ある商工業について

Q 昨年、スマートインター柳瀬工業団地に(株)KOKUSAI ELECTRIC 砺波事業所が新たに進出し、創業しました。施設は地上3階建て、延床面積約38,000㎡、従業員数250名規模の事業所です。このような優良企業の進出が、砺波市にどのような効果をもたらしているのか伺います。また、第2団地造成の進捗と企業誘致の状況について伺います。

A 同社の新規雇用者のうち、約50名は市内に居住されました。また多くの派遣社員の方も、市内のアパート等に居住され、市内の商業施設などを多く利用されていることで、地域経済の活性化に繋がっているものと考えます。また、会社の通勤用のバスが日に4往復運行されるなど交通事業者の需要も増加しています。その他にもチューリップフェアや庄川観光祭といったイベントにご協賛いただき、本市のまちづくりへのご支援もいただいています。

スマートインター第2団地の造成工事は、9月末の完成に向けて鋭意取り組んでいます。企業誘致にはいくつか問合せがありますが、本市ではスマートICに隣接する交通の利便性や浸水リスクに備えた安全性などをPRし、1区画4ヘクタールという特性を十分に発揮できる企業の誘致に努めます。



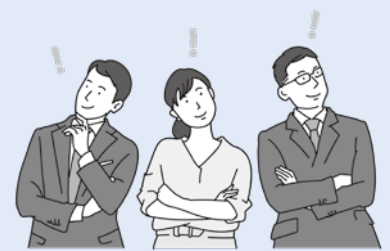
Q 本市として、新たな工業団地を造成していく必要性を感じます。次の場所やその規模について伺います。

A 新たな造成地については、委託先の(一財)日本立地センターからの調査結果をもとに候補地を選定し、既存の工業団地に隣接する庄川沿川や、工業用水を利用できる太田・般若・東般若の3箇所に絞りました。しかし、いずれも農業振興地域内に位置しており、農振除外や農地転用などの許可が必要なことから、相当ハードルが高いと考えています。

ついでに、農地における食料の安定供給や、農村の維持に必要な農地の確保に考慮しながら、農商工のバランスにも十分配慮して新たな企業誘致造成地を決定していきます。

9月1日・2日の両日、12人の議員が市政に対する代表・一般質問を行いました。

8月定例会 代表・一般質問



代表・一般質問とは

議員が市のあらゆる施策について伺い、自由な意見を述べ、市の公式の見解を求める機会です。代表質問は、会派を代表して質問を行います。

※ 8月定例会での代表・一般質問の録画映像を、インターネット配信しています。議員氏名の下各QRコードからも、質問の映像を見ることができます。

砺波市議会

検索





に き りょういち
仁木 良市議員



中学校再編に伴う児童・生徒への配慮について

Q 中学校統合の場合のスクールバスの運行方針について伺います。

A 生徒の登下校時の安全確保と負担軽減の観点から、庄川を越える生徒や通学距離が概ね6km以内、通学時間が概ね1時間以内の基準を超える生徒には、スクールバスの利用や公共交通機関の利用補助など、地域の実情や例外対応にも考慮した運行方針を検討していきます。

Q 中学校再編時期における生徒一人ひとりへのフォローアップや教育環境の更なる向上に、どのように配慮するのか伺います。

A 対象小中学校の児童生徒間交流事業を計画的に実施するほか、タブレット端末機能を活用して対象校同士を繋ぎ、遠隔で一緒に授業を行うなど、新設中学校で円滑な学校生活がスタートできるように、統合前から児童生徒一人ひとりへのフォローアップと心のケアに努めていきます。

質問の趣旨

小学生の時に統合を経験したため、児童生徒の不安や戸惑いに適切に対応する必要性を感じ、現行の小学校のスクールバス基準(通学距離が4km超)とともに質問しました。



はやし のりこ
林 教子議員



患者サービス向上のためのWi-Fi環境整備について

Q 市立砺波総合病院において、患者が安心して利用できるWi-Fi環境の整備を求めます。

A 現在、病室でのWi-Fi利用は制限しています。しかし医療DXや患者へのサービス向上の観点からWi-Fi環境の整備は必要であると考えています。

そこで今年度行う電子カルテ更新に合わせて、病室だけでなく外来も含めた院内全体でのWi-Fi環境の整備を計画しています。

その際には、安全対策を徹底し、患者が安心して療養に専念できる環境を維持するための利用ルールを設けます。



質問の趣旨

小さなお子さんの急な入院時に感じた不便を保護者から聞きました。患者が安心して療養や通院ができる環境づくりと、サービスの向上を図るために、病室・外来を含めたWi-Fi環境の必要性を感じ整備を求めました。



こうしま としあき
神島 利明議員



避難所生活における最低限の生活基準の確保について

Q スフィア基準[※]は、人道的な避難所運営を行う上で有効な指標となり得るものであり、参考とすることが重要と考えますが、市の見解について伺います。

※スフィア基準…人道支援において最低限満たすべき人道支援の質と説明責任を定めた国際的なガイドライン

A 同基準に照らすと本市は、トイレ・避難所での1人当たりの居住スペースともに確保できています。なお、次回の地域防災計画の改定に合わせ、数値の見直しを行う予定をしています。当該基準を参考とすることは、避難所環境の改善の観点から非常に有効であることは十分認識しており、新たな国の指針やガイドラインに基づき、避難所環境や備蓄品の整備について、引き続き計画的に取り組みます。

質問の趣旨

防災対策においては、事前の備えが極めて重要であり、避難所の環境についても国際基準に則って整備することが求められており質問しました。



はらの まこと
原野 誠議員



子どもたちの
安全を確保
する

学校における熱中症対策について

Q 学校における熱中症予防について、教職員への啓発・対応研修を実施するよう、また児童生徒が自ら熱中症の危険を予測し、安全確保の行動が取れるよう、その指導について伺います。

A 教職員への啓発・研修については、6月頃から熱中症に関する対応や対策について共通理解を図っています。また、日々の暑さ指数を職員室や保健室などに掲示し、いつでも確認できるよう情報共有を図り、教職員には児童生徒が安全に安心して学習できる環境づくりを行うよう指導しています。一方、児童生徒への指導については、体育や休み時間など安全に過ごすことができるよう、学年に応じて熱中症の危険等に関する学習時間を設けています。また、学校によっては児童生徒自身が校内放送で呼びかけるなど、各自が熱中症の危険を予測できるよう対応しています。

質問の趣旨

熱中症事故や健康被害を防ぐため、適切な対応について共通理解を図り、その発生に備えることが必要だと考えます。



さかい さよこ
境 佐余子議員



生態系の
バランスを
守るために

美しい砺波の風景をいつまでも

Q 増えてきた外来植物への対応策はどのようなものですか？



◀セイトカ
アワダチソウ



マルバルコウ▶

A 「特定外来生物」は法により、飼養、栽培、保管、運搬等が禁止されて、駆除を積極的に進めています。本市でも市ホームページやチラシの配布などにおいて「オオキンケイギク」の駆除について協力を呼びかけました。また「生態系被害防止外来種」に指定されている「セイトカアワダチソウ」の自生も確認されており、駆除への協力を市民へ呼びかけています。生態系をおびやかす外来植物は積極的に駆除すべきということで、除草作業が本格化する前の春先に広報となみや市ホームページ等から駆除への協力について、呼びかけを強化していきます。

質問の趣旨

質問でも触れたマルバルコウは、帰化アサガオです。これらも外国から侵入した帰化雑草。近年猛烈なスピードで地域や圃場に広がっていることを以前から危惧しており、皆さんにも知っていただきたく質問しました。



はらだ さだのり
原田 定範議員



転落死亡事故を
絶対に出さない
ために

農業用水路への転落事故防止について

Q 県や関係機関の連携のもと、転落事故防止に向けた意識啓発・安全対策が推進されていますが、依然として発生件数が多い状況です。安全対策について伺います。



転落防止柵が設置

A 本市における農業用水路への転落死亡事故は、過去10年間で10件発生し、全て65歳以上の高齢者です。再発防止のため、県と連携のもと、警察署・関係土地改良区や地域住民の皆さんとのワークショップ開催などのソフト面、転落防止柵設置などのハード面の両面から対策を講じています。しかし、全ての水路をハード面で対策することは難しいため、各地区でのワークショップ等で危険性が高いと判断された箇所を優先順位をつけながら、施設管理者によって転落防止柵を設置するなど、安全対策の推進に努めます。

質問の趣旨

私たちの暮らしのそばに大小多くの農業用水路があり、身近な危険に気づきにくく、市民が自転車乗車中・歩行中・農作業中などに誤って用水路に転落し事故に繋がる事例が多い。転落事故撲滅を図るべく、安全対策について質問しました。

みんなで育てる、
カーボンニュートラルな
まち・となみ



しま だ みつる
嶋田 充議員



カーボンニュートラル^{*}推進の強化

Q 市内には GX^{*}に積極的に取組む企業があり、その企業を「GX 推進モデル企業」として認定・表彰し、市民に広く周知することで、GX 推進を加速することについて伺います。

また、官民連携を基盤に、公民館・小中学校・高齢者学級などの教育インフラを活用した啓発活動を強化することについて伺います。

A 認定・表彰制度の創設については企業のモチベーション向上につながる有効な提案だと考えており、今後調査研究を進めます。

また、事業者と連携し、公民館や小中学校のイベントなどで、お子さんからご年配の方まで、ライフステージに応じたGXやカーボンニュートラルについて啓発、推進に努めます。

※カーボンニュートラル…温室効果ガスの排出量と吸収量をプラスマイナスゼロにすること

※GX…グリーントランスフォーメーションの略。温室効果ガスを減らし、環境にやさしい社会や経済に変えていくこと

質問の趣旨

カーボンニュートラル実現には、市民や事業者の理解と行動が不可欠です。そこで、本市でも意識と行動を促す啓発活動が重要だと考えます。国のGX施策による交付金等の獲得機会を最大限に活かすため、官民連携による戦略的な啓発活動の強化が必要だと思い質問しました。

油田駅・東野尻駅に
スロープを取り
付けてほしい！



むか い みき お
向井 幹雄議員



油田駅・東野尻駅にスロープを取り付けることについて

Q JR 城端線の一部の駅ではエレベーターやスロープが未整備です。

地元住民にとっても観光客にとっても利便性のある公共交通機関となるよう、油田駅・東野尻駅の階段横にスロープを取り付けることを、JR 西日本へ要望願います。

A 市内の JR 城端線の 3 駅のうち、砺波駅以外の油田駅、東野尻駅は、スロープが設置されておらず、ベビーカーや車いすなどの利用がしづらい状況にあることは承知しています。油田駅、東野尻駅で車いすなどを利用される場合は、事前に JR 西日本に連絡していただくことで介助が受けられ、乗り降りすることができる体制となっています。

今後、城端線・氷見線の再構築事業が進捗していくことを見据え、油田駅、東野尻駅の利用状況等を踏まえ、引き続き JR 西日本に対して働きかけていきます。

質問の趣旨

車いす利用者や高齢者・ベビーカー利用者が安全に乗り降りできるよう、駅の整備をしていただきたく質問しました。

地元の文化財を
後世につなげ
よう！

こにし とよかず
小西 十四一議員



本市における文化財保存活用計画について

Q 県道 40 号線沿いの道路に設置されている地蔵様の一部は雨ざらしとなっており風化が激しく一部が崩落しているものが散見されていますが、本市における対応について伺います。

A 市内の多くの石仏や記念碑などは、個人や地域の方が所有・管理しているものであり、市による劣化等への対応はできません。所有者等から相談がありましたら、専門家につなぐなど、個別に対応していきます。

Q 登録ふるさと文化財にQRコードを設置することで、子どもたちや地域住民に大事な文化財の意義について理解してもらうとともに、保存への意識を高めることについて伺います。

A QRコードの活用は、現地で文化財の特徴や背景を分かりやすく伝える有効な手段であり、学習や保存意識の向上にもつながるものです。今後は、所有者や管理者と連携し、その導入も含め、情報発信方法等について検討します。

質問の趣旨

砺波市文化財保存活用地域計画が策定されました。今後本市登録の貴重な文化財をどのように保存していくのかについて伺いました。



よねやま まさき
米山 勝規議員



中山間地域の農地保全について

Q 今夏は猛暑及び記録的な少雨という現象が起き、ため池を利用している中山間地域の渇水被害が深刻となりました。本市は県内でもいち早く、民間事業者の給水車による水の運搬、農林水産省及び国土交通省の災害用ポンプ車等を活用した送水を行いました。結果として農家や農業者の方々にとって喜ばれるものでした。

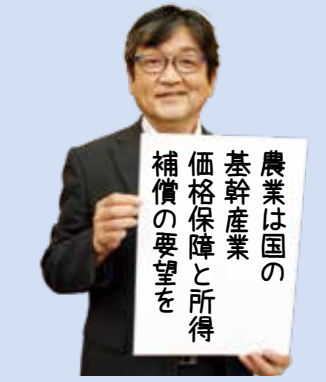
全国的な気候変動が激しい中、今回の渇水が特殊な出来事ではなく、今後も同じような現象が起これと想定して、今回の対応を踏まえた将来の計画を立てることについて伺います。

A 今回の対応経過を振り返り、課題を整理しながら、資機材手配などの対応手順や協力・連絡体制の確立及び必要な補助制度など、耕作継続に向けた仕組みづくりを検討していきます。



質問の趣旨

「農地」という地域資源を守るため、危機に対する適切な対応を未来につなげていきたいと思い提案しました。



さかい きんご
境 欣吾議員



求む！ 規模の大小問わず、中山間地でも続けられる農業支援

Q 米価格の暴騰で農政の見直しが議論されています。生産者が安定した経営を営め、消費者も安心して購入できるよう、米の価格に国が責任を持って係わることが必要です。規模の大小を問わない、生産者への価格保障と所得補償を国に求めることについて伺います。

A 価格保障と所得補償は、国の動向を見守り、農家所得の向上を求めています。

Q 中山間地での農業は、市にとって大切な、お金で買えない多面的な役割を果たしています。渇水や豪雨の被災があっても頑張っておられる営農の支援が必要です。機械利用組合が有利な融資や補助の対象となるように、また砺波市農地・農業用施設小規模災害復旧支援金の上限額を引き上げることについて伺います。

A 「地域まるっと中間管理方式」について調査・検討しており、機械導入の支援に努めます。支援金については、一定の負担は事業の公平性からも必要と考えます。

質問の趣旨

将来にわたって農業が続いていくことを願い質問しました。

傍聴してみませんか

令和7年12月定例会カレンダー(予定)

日	月	火	水	木	金	土
	1 10:00 本会議	2	3	4	5	6
7	8 10:00 本会議	9 10:00 本会議	10 10:00 文教民生 病院常任委員会	11 10:00 総務産業 建設常任委員会	12	13
14	15 14:00 本会議	16	17	18	19	20

傍聴手順

- ①当日、砺波市役所本庁3階の議場前にお越しください。
- ②議場出入口付近にある受付票に、住所・氏名等をご記入ください。
- ③傍聴席へご入場ください。(傍聴は出入り自由です。)

原案
可決

議案第45号 令和7年度砺波市一般会計補正予算(第3号)

老人福祉施設整備費 「認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業補助金」 15,460千円

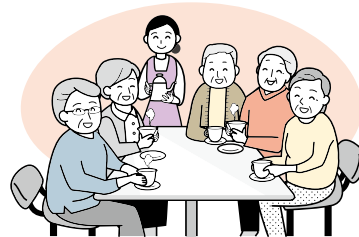
提案理由

国からの内示を受けた、認知症高齢者グループホーム2施設に対するもので、1施設は施設の老朽化に伴う大規模修繕、1施設は消雪装置の整備及び中庭への避難経路の段差解消を実施する。

審議内容は？

定員29人以下の小規模な施設で大規模改修が必要となる場合、国への申請が認められると、交付金が受けられること。

また市内全てのグループホームで自然災害発生時の業務継続計画(BCP)が策定されており、様々な訓練や研修が実施されていることなど事業の詳細を質疑した。



原案
可決

議案第45号 令和7年度砺波市一般会計補正予算(第3号)

空き家対策事業費「空き家再生等推進事業補助金」 1,000千円

提案理由

空き家を活用し、地域活性化や地域の関係人口の増加を目的とした事業に取り組む事業者に対し、空き家の改修等に係る経費を補助する。

審議内容は？

今回の補助は、地域の方々が気軽に立ち寄れる「空き家相談所」の開設や創作アトリエで親子の創作プログラム、地域の方々と連携する計画があるなど、地域の活性化及び居住環境の整備に資する内容であることを確認した。



空き家内の様子

9/18 プラスチックごみの処理現場を視察

富山市の㈱富山環境整備を視察しました。資源の循環を目指す同社は、プラスチックごみを年間12万トン引き取り、再商品化しています。

また、廃棄物焼却発電システムを備え、その電力で年間を通じビニルハウスでのアグリ事業にも取り組んでいます。砺波広域圏では昨年4月からプラスチックの一括回収を行っておりますが、同社の方からは「資源の少ない日本において、もっとプラスチックの回収を進めてほしい」との声もありました。



詳しくは
こちら▶



原案
可決

議案第45号 令和7年度砺波市一般会計補正予算(第3号)

防災対策費 「防災井戸整備モデル工事費」 9,592千円



防災井戸イメージ

提案理由

大規模災害時には、すぐには給水ができないと想定される。3日分程度の生活用水である1人当たり数十リットルの確保が必要であるため、避難所に指定されている出町小学校と砺波東部小学校の既存井戸に新たに給水栓を設置する。

審議内容は？

各地区の主要避難所での生活用水の確保は必要であり、組立て式の給水タンクの整備や、民間の井戸整備、既存の井戸を活用する災害時協力井戸制度などの手法や維持管理のルールづくりを検討するよう求めた。

原案
可決

議案第45号令和7年度砺波市一般会計補正予算(第3号)

かんがい排水事業補助費

「諏訪堂水路水門改修工事費」 19,000千円

提案理由

設置から60年以上たっており、水門を昇降操作した場合に、破損する恐れがあり足場が悪く危険が伴う場所となっているため改修するものである。これにより豪雨の際、下流域である中田口用水路から和田川へ流れると推定される量がほぼ全量カットされ、下流域における溢水は抑制される。



諏訪堂水路水門

審議内容は？

迅速な排水対策を行うには、高岡市、射水市を含めた庄川右岸全体での連携した水門操作が必要となる。整備完了後には集中管理が必要であり、今後、関係市及び土地改良区と協議していくとのこと。

7/31 中山間地域の渇水状況を現地視察

7月の異常渇水により水田の地割れ状況や稲の枯れあがり状況について、現地で耕作者に状況を伺いました。北陸農政局や国土交通省からのポンプ車による給水状況や民間の散水車の借り上げによる給水の現場について視察を行いました。

詳しくは
こちら▶



8/5 農業委員会との意見交換会

「砺波市農業について」をテーマに、各地区における農業経営の状況や農業継続に向けた課題を意見交換しました。

詳しくは
こちら▶





令和7年8月定例会

番号	議案等の名称	審議結果	米山	嶋田	原野	仁木	原田	境佐	林教	向井	神島	小西	境本	有若	川辺	島崎	今藤
			勝規	充	誠	良	定	余	子	雄	明	一	欣	史	隆	彦	孝之
【市長提出議案等】 ○…賛成 ●…反対 欠…欠席 議…議長（議長は採決に加わりません。）																	
議案第45号	令和7年度砺波市一般会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ2億2,479万2千円を追加するもの	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議案第46号	令和7年度砺波市霊苑事業特別会計補正予算（第1号） 青山霊苑に係る災害復旧事業債の繰り上げ償還をおこなうもの	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議案第47号	令和7年度砺波市下水道事業会計補正予算（第1号） 農業集落排水施設に係る災害復旧工事費増額及び新被害箇所 の管渠敷設替工事費	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議案第48号	砺波市議会議員及び砺波市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議案第49号	砺波市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議案第50号	砺波市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について 小学校就学前の方を養育する市職員の部分休業制度を拡充 するもの	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議案第51号	砺波市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議案第52号	砺波市夢の平リフト条例の一部改正について 持続的な運営のため、夢の平リフト条例の一部を改正し利用 料金の上限を引き上げるもの	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議案第53号	令和6年度砺波市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議案第54号	令和6年度砺波市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議案第55号	令和6年度砺波市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議案第56号	財産の取得について（中型バス） 現在使用しているスクールバスが老朽化していることから 新たにバスを購入するもの	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
認定第1号	令和6年度砺波市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
認定第2号	令和6年度砺波市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
認定第3号	令和6年度砺波市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
認定第4号	令和6年度砺波市霊苑事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
認定第5号	令和6年度砺波市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
認定第6号	令和6年度砺波市水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
認定第7号	令和6年度砺波市工業用水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
認定第8号	令和6年度砺波市下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
認定第9号	令和6年度砺波市病院事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議案第57号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（伊東 幸恵氏）	適任	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議案第58号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（岡部 淳子氏）	適任	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議案第59号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（平田 淳氏）	適任	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○

議会トピックス

幅広い議会活動の一端を紹介します

7/30 南砺市議会との議員研修会



本年も南砺市議会との合同で研修会を開催し、砺波市内3か所を現地視察しました。最初



に、スマートインター柳瀬工業団地（第2団地）を訪れ、商工観光課から現地の概要説明を受けた後、第1団地に立地されている㈱ KOKUSAI ELECTRIC において、同企業の設備・稼働状況等を、その後となみ野農業協同組合 稲種センターにおいて、砺波市の種もみ生産を支える水稻種子選別設備を視察しました。

8/12 砺波市地区自治振興協議会との意見交換会



市内 21 地区の自治振興会会長と市議会議員が一堂に会し、意見交換会を開催しました。

今回は、市内の空き家戸数が 598 戸と増加傾向にある現状を踏まえ、空き家・空き地対策や移住定住施策を中心に情報共有と各地域の現状を伺いました。

市空き家情報バンク制度、移住促進のための住宅支援制度の活用事例などを共有し、各地区からは地域間格差の是正や地域ごとの異なる課題解決の必要性など、具体的な声が寄せられました。議会としても、こうした地域の声を受け止め、10 月から始まる議会報告会で議論を深めるなど、次年度の政策提案に活かしていきます。

9/1

防災訓練



議場でのシェイクアウト訓練



9月1日定例会初日に、議場でシェイクアウト訓練を行いました。9月28日には、市の防災デー・総合訓練を視察し、併せて議員の安否確認をスマホやタブレットなどを活用して行いました。

9/28



第6回議会報告会を開催します (10月17日～11月21日)

10月17日の林地区自治振興会を皮切りに、全21地区において議会報告会～議会と語ろう明日のとなみ～を開催します。第6回は「移住定住と空き家対策の促進」をテーマに市民の皆さんと意見交換を行います。ぜひお近くに伺います際には足をお運びください。

詳しい日程はこちらから▶



第5回議会報告会開催時の模様

写真やご意見・ご感想を募集しています。

申込はこちらから▶



マチイロアプリ

スマホで「議会だより」(フルカラー版)が発行日の朝から読めるアプリのインストールはこちらから▶▶▶

